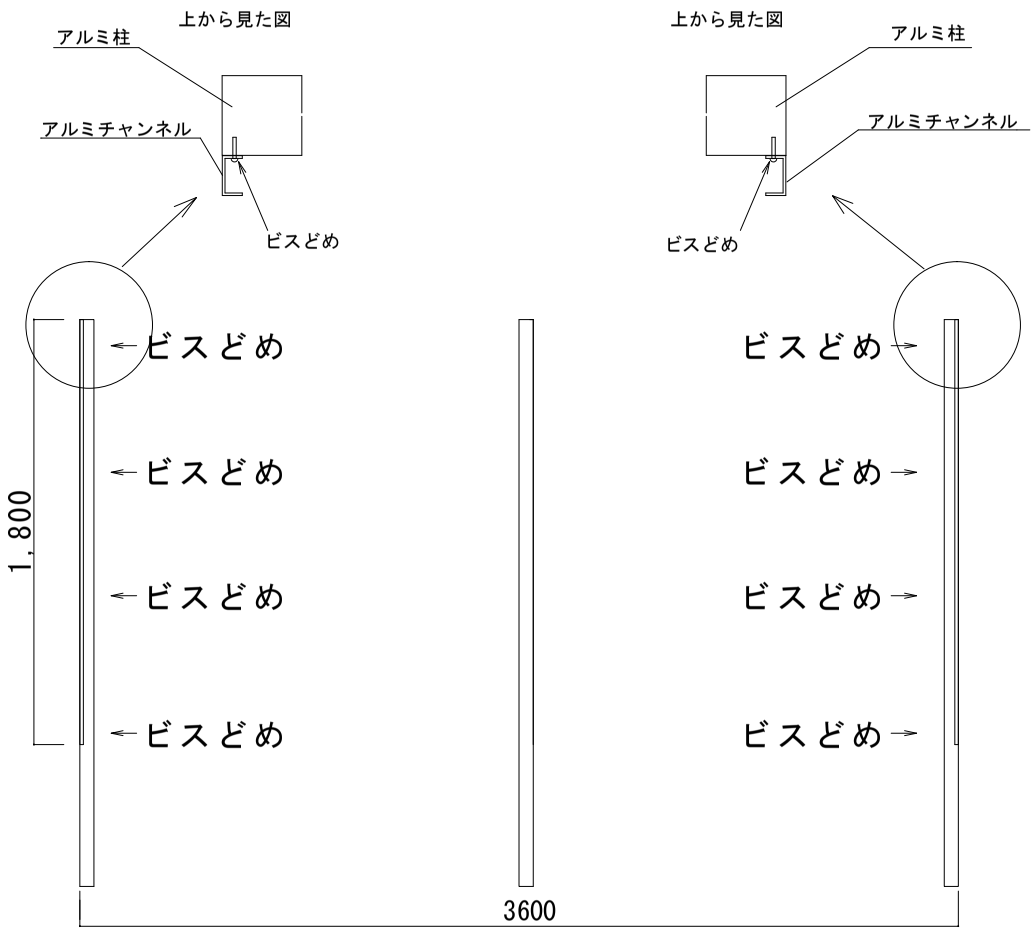
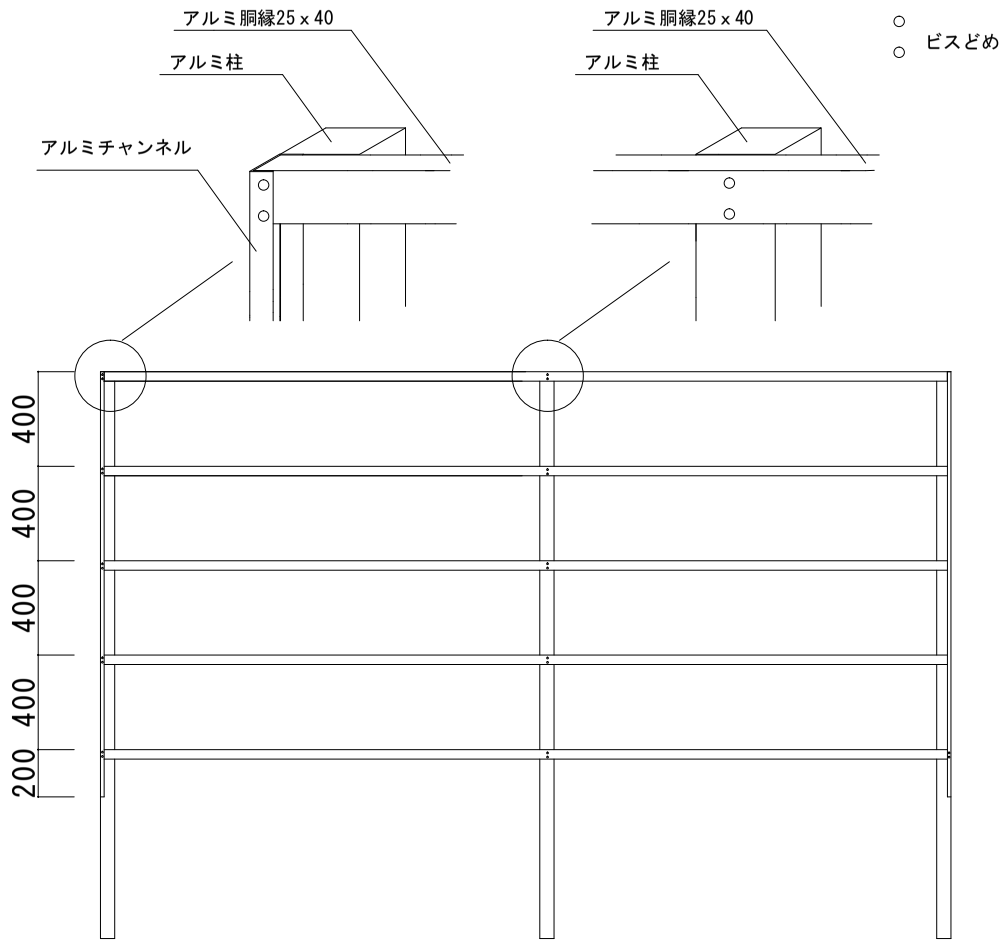
# 施工説明書

## 建仁寺垣　柱を見せないタイプ　片面

H=1800の場合（茶竹仕様の場合、ビスはすべて茶色を使用します）

東京ガーデニングスタイル
TOKYO GARDENING STYLE
施工に関するお問合せは TEL ０５９－３４０－4100




### ①アルミ柱にチャンネルを取り付ける。

アルミ柱の前面の端にC型チャンネルを取り付けます。H=1800の場合、チャンネル1本につきビスどめ4ヶ所です。間柱にC型チャンネルは使いません。

※4ｘ16(茶)ビス使用

### ②チャンネルにアルミ胴縁25ｘ40を取り付ける。

表側から2本ビスどめします。　※4ｘ16(茶)ビス使用

間柱部はアルミ胴縁25x40を直接アルミ柱にビスどめします。※4ｘ35(茶)ビス使用

(H=600は胴縁2段、H=900･1200は胴縁3段、H=1500は胴縁4段になります)

注：アルミ胴縁とチャンネルの間に隙間が出来ないようにビスどめして下さい。

注：アルミ胴縁を間柱にビスどめする際には、下穴を開けてからビスどめして下さい。

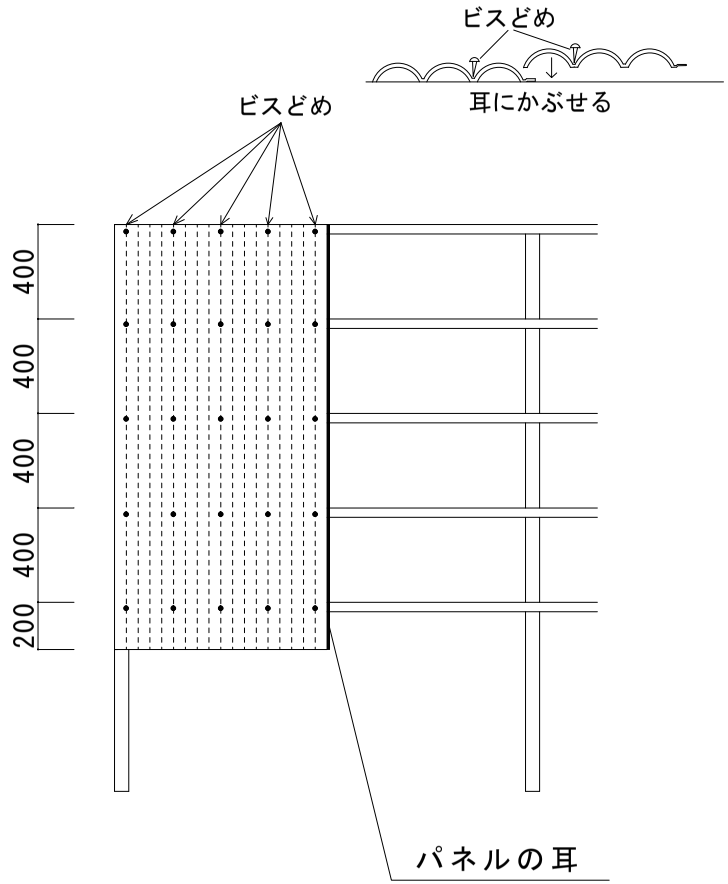
# 施工説明書

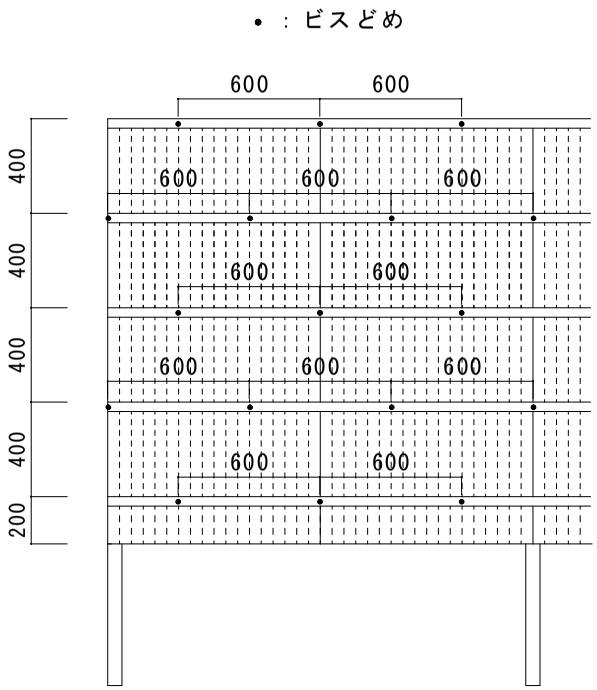
## 建仁寺垣　柱を見せないタイプ　片面

H=1800の場合（茶竹仕様の場合、ビスはすべて茶色を使用します）

東京ガーデニングスタイル
TOKYO GARDENING STYLE
施工に関するお問合せは TEL ０５９－３４０－4100

パネルの重ね方




### ③アルミ胴縁に建仁寺パネルを取り付ける

図のように、左側からパネルを取り付ける場合、パネルの耳が右側に来るように取り付けます。最後のパネルの耳はカッターナイフで切り落とします。

ビスどめの位置は横1列に5ヶ所が標準です。パネル1枚につき、4x16(黄)ビスを25本使用します。

※4ｘ16(黄)ビス使用

### ④割竹50を取り付ける

パネルの上から割り竹50をビスどめします。ビスの位置は600mm間隔が標準です。

※4ｘ40(黄)ビス使用

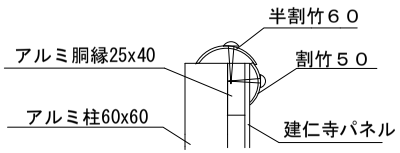
注：割竹50の両端は、必ずビスどめして下さい。

# 施工説明書

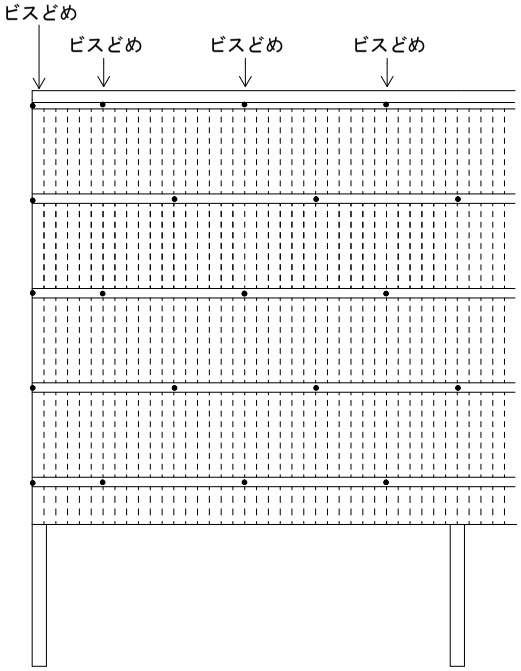
## 建仁寺垣　柱を見せないタイプ　片面

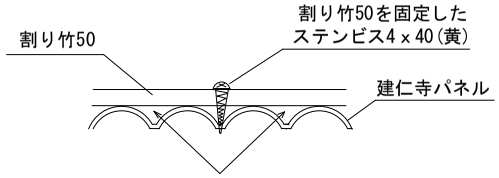
H=1800の場合（茶竹仕様の場合、ビスはすべて茶色を使用します）

東京ガーデニングスタイル
TOKYO GARDENING STYLE
施工に関するお問合せは TEL ０５９−３４０−4100

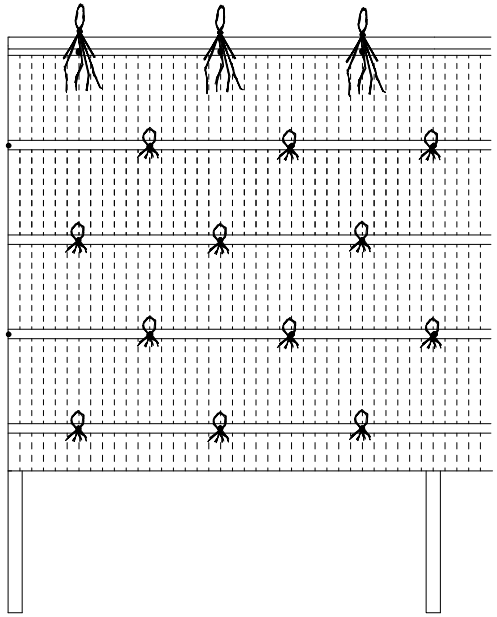



断面図




棕櫚縄を通す箇所



### ⑤最上部に半割竹60を取り付ける

下穴をあけてからビスどめします。ビスどめ位置は、最上部の割り竹50のビスどめ位置位置と同じ位置です。

※4ｘ40(黄)ビス使用

### ⑥人工棕櫚縄で縛る

割竹50を固定したビスの上から化粧結びをします。最上部はパネルに8mmほどの穴をあけ、その穴に棕櫚縄を通して結びます。

人工棕櫚縄の切り口は、バーナー等で少し熱を加えるとほづれが防止できます。

最後に柱キャップをして完成です。

※棕櫚縄の結び方は、別紙参照